

もうすぐ夏休み、プールや海水浴、磯遊びなど水辺で遊ぶ機会が増えます。そんな中、毎年全国各地でいたましい水難事故が起っています。水難事故は他の事故に比べ致死率は何と約50%。海水浴場が近くにある鵜沼だけに正しい知識を持って楽しい夏を満喫しましょう！

## おやじの小言その2

### ・鵜沼海岸、片瀬海岸にもリップカレントがある

遠浅で広い海水場として有名で、夏には多くの海水浴客が訪れます。片瀬海岸から鵜沼海岸までだらだらな浅瀬が続きますが、リップカレントと呼ばれる岸から沖へと向かう離岸流が数カ所存在します。外房などと比べると潮の流れは速くありませんが、ひとたびリップカレントに流されると、簡単に沖に流されてしまいます。またリップカレントの先は急深となっている事が多く、周囲が浅いのにその辺は大人でも背が立たない事があります。逆らって泳ごうとしても流れが速く体力を失います。



台風4号で削り取られた砂浜

もし流されてしまったら落ち着いて流れが緩くなるなるところまで浮かんでいる事です。そこから左右どちらかに泳ぎ、次に岸に向かって泳ぎましょう。もちろん泳げない人は必ず浮き輪を帯同しましょう。それと不用意に深い場所には立ち入らない事が大切です。深い場所は他の場所より白波が立っていません、よって、岸近くでも周囲より白波がなく泳ぎやすそうなところには意外に注意が必要です。また、少し沖合に浮遊したゴミのたまり場がある場合、その手前にリップカレントが存在しがちです。その他、干潮と満潮の2時間前後が潮の動きが速く、鵜沼海岸では西沖に向かう潮が特徴です。安全に遊ぶにはライフセーバー(黄色いシャツに赤い短パンを履いた人達)の目の利くところがお勧めです。

### ・溺れないために、もし溺れてしまったら

溺れると恐怖とパニックが一度に襲ってくる上、水を飲んだり、吸い込んでしまったら一瞬で気を失い、水底に沈んでしまう事もあります。プールでうまく泳げても海は波や流れ、急激な水温変化があり、思ったよりうまく泳げません。泳げない人は必ず浮き輪を帯同しましょう。もちろん寝不足や疲れているなど体調が悪いときは泳ぐのは控えましょう。それと長時間水に漬かっていると体温が低下します。プールと同じく時々水から上がり体を温めましょう。冷たい飲み物の多飲にも注意が必要です。仮に溺れたら泳ぐ事よりも浮くこと考え、大声を出し、両手を大きく振ってライフセーバーを呼びましょう。また遊泳禁止地区や高波で遊泳出来ない時は、絶対に海には入らないで下さい。また、プールでは監視員の指示に従い楽しく遊びましょう。

### ・親が同伴していても

親子で海水浴に行っても、うっかり目を離すと子供を見失います。なるべく親も一緒に行動しましょう。親がジュースなどを買いに行くときは、子供だけで海に入らないよう約束して下さい。

## ・遊泳中、足がつつたら

泳ぐ前に良くストレッチする事。それでも足がつつってしまったら慌てず、つりがおさまるまで出来るだけ全身の力を抜いて浮くことに専念しましょう。水分や電解質不足も原因の1つ、熱中症予防にもスポーツドリンクなどの水分を取りましょう。

## ・マリンスポーツに伴う事故

遊泳地区(遊泳時間外と遊泳禁止時を除く)にはジェットスキーやサーフィンが入らない事になっていますが、マナーを守らない人がいる事があります。接触事故に遭わないよう近づかない事。また、海水浴場で地引き網が行われているところがあります。引き上げ中のロープや網の傍では絶対泳がないで下さい。

## ・江ノ島の岩屋は滑る

江ノ島の岩屋は海蝕台となっており満潮時や高波で海水が被り、海苔が生えています。釣り人はスパイク靴を履いていますが、運動靴や長靴では滑って尻餅をついたり、頭を打つ事があります。また原則的に立入禁止となっていますので、保護者と釣りや磯遊びに行く以外は近づかない事。また、手すりや柵のない堤防、護岸も注意が必要です。

## ・海岸にいて津波注意報、警報が出たら

防災無線を通じて放送塔から避難指示が出た場合は、速やかに国道134号線を越えた高い建物の上階に避難するか、出来るだけ海から離れましょう。

## ・意外な盲点は近くの川

鵜沼には境川と引地川が流れています。ご存知の通り両側は急傾斜の土手で覆われています。所々ハシゴがあり、土手下に下りる事も出来、子供達が降りないとも限りません。海岸にはライフセイバーがいますが川はどうでしょう。転落したら急いで駆けつけてくれる人がいるでしょうか？また川に転落したとしたら服を着ているはず。たとえ泳ぎが達者な子供でも服を着ていては上手に泳ぐことは難しいでしょう。土手下に下りている子供を見たら注意して上がらせて下さい。



## ・はず池の中に入る子供達を見かけますが

はず池の中に入る子供を時おり見かけます。見た目の水位は30cm位しかない場所でも泥が深く、増水時は子供の腰までつかるところもあります。こんな状態で転んでしまったらどうなるでしょう。また泥の中に割れたビン、錆びた空き缶などが埋もれている事があります。裸足で入って足を切り、破傷風菌などが入ったら大変です。基本的には池の中には入らないように遊ばしましょう。

右の写真は藤沢市から公園利用許可を得て見識者指導の基、怪我をしないように靴を履いて池に入っています。



藤沢メダカの学校主催の生物調査

**新隊員メンバー** 今年も6名の新隊員が加わりました。よろしくお祈いします。

隊員：望月昌実、棚橋泰友、原光洋、八尾健史、保川大助、稲垣順永

編集：KFP広報部 平野、岩田、武井